

こんにちは。

鎌倉市在住で鎌倉ローンテニスクラブに所属している松岡隼です。

今、自分は 17 歳で高校 3 年生です。

小さい頃から両親の影響でテニスを始めました。

最初は、鎌倉市にある父のいる会社のテニスコートや市営コートで両親と遊ぶ程度でしたが、テニスが徐々に楽しくなりテニススクールに入ってから、トップジュニアを目指して頑張ってきました。

高校進学を契機に、更にテニス中心の生活を送っています。

高校 1 年生の時はコロナの影響でほとんどの大会が中止となり、活躍する場もなく、地道にトレーニングをして来ました。

高校 2 年生の時に、16 歳以下のカテゴリーで、MUFG 全国選抜(写真 1)、全日本ジュニアを制覇し(写真 2)、国別対抗戦ジュニアデビスカップでは日本の No.1 選手として出場し、日本の 6 位入賞に貢献しました。(写真 3.4)



MUFG 全国選抜(写真 1)



全日本ジュニア(写真 2)

ジュニアデ杯では、チェコの 18 歳以下世界ジュニアランキング (ITF ジュニア) 4 位 (21/3/14 時点) の Jakub Mensik 選手に勝てたことは大きな自信となり、世界に通用するテニスを習得したいと強く思うようになりました。



国別対抗戦ジュニアデビスカップ(写真 3)



国別対抗戦ジュニアデビスカップ(写真 4)

元々高校選びの時点で、「世界に通用する選手」を目指そうと決めていました。そのためには世界各地で開催される ITF ジュニアを転戦する必要があり、高校関連の大会には出場せずに、世界のテニスを習得する覚悟をしていました。国内ジュニア大会ではその時まで全国制覇をできていなかったため、こちらを併せて目標にしていましたが、昨年 4 月と 8 月に全国制覇を経験できたため、今年は日本のジュニア大会には出場せず、世界のトップジュニアの仲間入りをする為に、海外の大会を年間約 25 大会程出場する事に決めました。

今、自分は世界中で開催されている ITF ジュニアツアーを転戦しています。

ITF ジュニアツアーは毎週世界各国で開催されていて、その結果に応じて毎週月曜日にランキングが更新されます。グランドスラムジュニアの 4 大会に出場するためには最低でも世界で 100 位に入る必要があります。（年や大会によって 85～100 位くらいの誤差があります。）

世界で開催される ITF の大会は大会のグレードが厳格に定められており、ポイントが少なければグレード上位の大会には出場できません。ポイント表は(表 1)になります。（P3 参照）

2021 年 5 月に初めて ITF ジュニアツアーの海外遠征をした時は 974 位だったランキングを、年末までに急激に上げることは成功していましたが、2022 年初めの時点ではまだ 100 位以内に程遠い 184 位だった為、1/14～3/12 の 2 ヶ月間チュニジア、ペルー、パラグアイ、ブラジル、タイでグレードが高く世界のトップ選手が集まる 7 大会に出場し、トップ選手と試合をし、レベルアップを目指すことと、ランキングを上げるために切磋琢磨しました。

その結果、目標としていた 100 位を大きく上回り、50 位（6/16 時点）に到達することができました。（写真 5）そして念願の全仏オープンジュニアにも予選ながら出場することが出来、（写真 6）ウィンブルドンジュニアは予戦を勝ち抜き本戦に出場することができました。（写真 7）ランキングが上がったことで、全米オープンジュニアは本戦ストレートインできそうです。今年はグランドスラムジュニアの本戦で勝つ事、ITF プロツアーに参戦して世界ランキングを獲得する事が目標です。



ITF ジュニアツアー(写真 5)



全仏オープンジュニア (写真 6)

来年はグランドスラムジュニアで活躍し、ジュニア卒業後はプロになり、将来的には世界で活躍するテニス選手になりたいと思っています。

まずは全米オープンジュニアで勝ち上がり、更にランキングを上げるために ITF ジュニアツアーは続けなければいけません。

現在の原油高から、航空運賃や物価が高騰しており、ツアーに参戦する資金が大変厳しくなっているのが今の大きな悩みです。

今後も全力で頑張っていきますので、ご声援、ご支援の程、宜しくお願い致します。

松岡 隼

表1

ITFジュニアポイント制度

<ITFジュニアポイント表>						
	W	F	SF	QF	R16	R32
シングルス						
Grand Slam*, Youth Olympics	1000	700	490	300	180	90
Grade A	500	350	250	150	90	45
Grade 1 / B1	300	210	140	100	60	30
Grade 2 / B2	200	140	100	60	36	18
Grade 3 / B3	100	60	36	20	10	5
Grade 4	60	36	18	10	5	-
Grade 5	30	18	9	5	2	-
ダブルス						
Grand Slam, Youth Olympics	750	525	367	225	135	-
Grade A 375 262	375	262	187	112	67	-
Grade 1 / B1	225	157	105	75	45	-
Grade 2 / B2 150	150	105	75	45	27	-
Grade 3 / B3	75	45	27	15	7	-
Grade 4	45	27	14	7	-	-
Grade 5	25	13	6	3	-	-

- ・過去52週間の内成績の良い6大会のポイントの合計で世界ジュニアランキングが決定される
- ・ダブルスは獲得ポイントの1/4が加算される
- ・従って、グレード低い試合で勝利してもランキング上昇は望めない。
- ・グランドスラム出場、世界20位以内を考えるとGrade1以上の大会で上位進出が必須となる。
- ・但し、Gradeの高い大会は大会数が少ない上に開催地がほぼ欧州・北米・南米で占められており世界転戦が必要となる。

ITFジュニアピラミッドとATPピラミッド

